



会 長 小林 幹夫 青少年奉仕 橋本八右衛門
副 会 長 道尻 誠助 幹 事 正部家光彦
クラブ奉仕 会 計 佐々木泰宏
会長エレクト 紺野 広 会場監督 峯 正一
職業奉仕 妻神 和憲 直前会長 小井田和哉
社会奉仕 地代所久恭 副 幹 事 松本 剛典
国際奉仕 中村 稔彦 会計補佐 山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八 戸 市 番 町 14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0 6 0 8 FAX (43) 0 6 6 1
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也
同 委 員 廣田 茂 同 委 員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022～23 — 八戸ロータリークラブのテーマ

イマジン ロータリー

ロータリーの力を信じよう！

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小 林 幹 夫

7 月 は 新 会 員 の た め の 月 間 で す

第 3 2 3 3 回例会 2022.7.6

会 長 要 件 小林 幹夫 会長



本年度会長を仰せつかりました小林です。一年間よろしくお願いいたします。

本年度の会長方針等々につきましては、1時過ぎにお伝えしたいと思います。

1. 今週の日曜日、7月10日にさっそく地区補助金を使った事業を行う予定です。市内の幼稚園児66人から募集を受け、ブルーベリー農園でブルーベリー狩りをさせていただき、その後にみんなでクッキングをしてもらう企画です。今コロナ禍でなかなか子どもたちの笑顔が見えない状況ですので、子どもたちの笑顔が見たいということで企画しました。

本来なら地区補助金事業はロータリアンの皆さんも現場に来ていただいて、みんなと楽しくやっていただくというのが本筋ですが、コロナ禍ということもあり、今回はわたしと正部家幹事、地代所社会奉仕委員長との3人でやってみたいと思っています。

第2回、第3回は8月10日と9月に開か

れる予定ですので、その時に状況が許せば皆さんと一緒にやりたいと思っていますので、ご了承ください。

2. 小井田年度の最後に基隆とのグローバル補助金についてなかなかうまくいかなかったという報告が小井田会長よりあったと思います。きょうこれから行う事業計画の中で、最終決定をする前にわたしからお願いする部分もありましたので、一部文書の中にはグローバル補助金を使った事業を継続してやるといった部分もあるかと思っています。委員長さんはその辺をじゃっかん修正しながら事業計画をお話いただければと思います。

幹 事 報 告 正部家光彦 幹事



一年間幹事を務めます。よろしく申し上げます。幹事を務めるにあたり井上ひさしさんのことばを大事にしたいと思っています。

「難しいことを優しく、優しいことを深く、深いことをおもしろく、おもしろいこと

は真面目に、真面目なことは愉快に」

小林会長を支えながら連絡事項だけを伝えることになるかもしれませんが、元々教員なのでおもしろいこともまじめにしゃべってしまうこともありますので、今のことを大事に一年間、いろいろな連絡、皆さんへのお願いなどをしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

○ロータリーレートのお知らせ

7月1日より、1ドル=136円

○地元の果物野菜を用いて「親子でチャレンジクッキング」という企画をこれから地区補助金を使ってやっていきます。6月1日の理事会でお話をして、市内20幼稚園のうち14の幼稚園66人の方から申し込みがありました。

ただ人数制限があります。全部で3回行いますが、各回それぞれ10組の親子を招待します。7月10日はブルーベリーの収穫とデザート作り。8月7日はとうもろこしの収穫体験と料理作り、9月18日はさつまいもの収穫体験と料理作り。南郷の農園に出かけて実際に収穫をし、南郷公民館に移動してそこで親子で調理をしてもらう企画です。

狙いはいろいろな体験は不足していますので、実際に畑に出かけて土に触れて、果物や野菜を収穫して、それらを調理することで食や農業に対して興味や関心を抱いてもらい、将来の豊かな食生活を考える機会にして欲しいということで実施するものです。

今回はコロナの事もありますし、調理室が狭いこともありますので、会員にはご遠慮いただきますが、8月9月はようすを見て会員にもご案内したいと思っています。

委員会報告

親睦・会場委員会

岡崎孝文委員長



○ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 石橋信雄さん
- ・奥様誕生祝 岡崎孝文
村井 達さん
- ・結婚記念日 広瀬知明さん

※※一年間、よろしくお願いいたします※※

小林幹夫・道尻誠助・妻神和憲・小井田和哉
佐々木泰宏・築館智大・夏川戸 斉

橋本八右衛門さん

澤藤孝之さん 株主総会が無事終了しました。

渡辺 孝さん ニコニコデー

7月5日(火)任意水曜会

ゴルフコンペ参加報告

板 慎一さん



当初は十和田国際カントリーで4組16名の参加で開催予定でしたが、諸般の事情により2組7人の任意の開催になりました。

前半9ホールは日差しも強く蒸し暑い中でのプレーでしたが、後半は2ホールを終了したところで雷が強く鳴りだし、雨も降りだしました。ゴルフ場のほうでサイレンが鳴り、プレー中断になってしまいました。結果7名のうち3名はそこまでプレーを切り上げていただき、残りの4人(佐々木水曜会会長、小林新会長、高田さんとわたし)で待っていましたら、佐々木会長からゴルフ場にプレッシャーの一言があり、その甲斐あって1時間半の中断を経てプレーを再開し、何とか最後まで回りきって終了した次第です。

小林会長年度最初の昼例会に先立つ行事でしたが、なかなか面白いスタートになったのではと感じています。

前半9ホールのスコアを元に順位を決め、結果、佐々木会長の優勝でめでたしめでたしでした。

会長方針



今年度会長を仰せつかりました小林です。1年間よろしくお願いいたします。これから本年度会長方針をお話しさせていただきますが、その前に簡単に自己紹介をさせていただきます。

1972年8月生まれで、今年50歳になります。今日現在は49歳ですが、来月21日が50歳の誕

生日です。八戸で生まれ、高校を出た後に北海道の小樽商科大学に入りました。大学に行くとなると仙台や東京に目が向くのですが、わたしはちょっとひねくれていて、北海道に行きたい。本当は北大に入りたかったのですが、なかなか学力が足りず、そこに入るようになりました。

ただその大学は単科大学ですのでこじんまりとしていて、1学年400人くらいしかいませんでしたので、高校とそんなに規模が変わらずに生活できたというのが気持ち的にすごく楽でした。

大学1、2年生のときはアルバイトと麻雀しかやりませんでした。麻雀は10時に雀荘に入って翌日の10時に雀荘から出てくるという生活を1週間に1、2度やっていました。アルバイトも中学生相手の塾の講師をしていましたが、けっこう面白く、1年間働いた後に父に働きすぎで扶養から外れたといわれました。

その時は税金に関しての知識が全くなく、頑張ってる稼いでいるからいいじゃないかと思ったのですが、今の地位になると子どもはあまり働かせてはダメだなと感じます。

大学2年間は遊び呆けていましたが、3年生になってやはり父が税理士ということもあって勉強しなくてはと、取りあえず税理士の勉強をしました。税理士は5科目合格しなくてはいけないのですが科目合格が効きます。1科目ずつ受けていってトータル5科目受かった時点で税理士の資格をもらえるのですが、5科目のうち2科目を一気に取ってしまいました。

その後3科目を勉強しようと思ったら、3科目が税法の勉強でした。わたしは計算は得意だったのですが、法律をほぼほぼ丸暗記しなければいけないという国家試験でしたので、わたしは丸暗記は苦手でした。どうしようかと考えたら公認会計士にしようということで、大学を卒業してから親に頭を下げて、勉強をさせてもらいました。

ちょっと時間はかかりましたが、その間に東京にも勉強しに行って、何とか合格しまし

た。合格するとふつうは監査法人という公認会計士がたくさんいる会社に入りますが、自分が教えてもらっていた予備校に先生をやってくれと引き留められて、水道橋の大原簿記学校で講師を5年くらいやりました。それはまだ20世紀の話です。その時にその学校がすごいと思ったのは、その時に衛星で授業をやっていたことです。BSを使って全国の専門学校に配信する。今思えば先進的な学校だったと思っています。

その後2002年に仙台に移動。その時には子供が3人いた状態で仙台に転居し、仙台で監査法人に入り、そこで5年間いて、東北で一番大きな会社の監査を経験させていただいた後、2008年に八戸に帰りました。父が税理士でしたので、その事務所を継ぐような形で事務所に入りました。

当初は神明さんの近くの上徒士町に事務所がありました。うちの事務所は昭和30年代に青森県で一番最初に公認会計士を取った石亀明先生から数えて、わたしで4代目の所長となります。今から5年前に根城にある公認会計士の小山さんと一緒にやろうと声をかけていただいて、今の事務所は根城のスターバックスの隣にあります。

今子供は4人います。上の2人は大学生、3番目は高3です。一番下の小2の娘は、上の子たちからすごい可愛がられ、今や自分で何もできずにお嬢様状態になっていて、何とか鍛えなければというのが今の小林家の家庭の課題です。自分のことは自分でできるようになるというところから始めています。

わたしは2007年に八戸に帰ってきた翌年の2008年にロータリーに入会させていただきました。その時のガバナーが五所川原中央の山崎淳一さん、その次のガバナーが村井達さんでした。その時は35歳でしたので、クラブの中で一番若い部類でいろんな方から可愛がられていました。

幸いなことに地区の仕事もいろいろさせていただきました。2014年に故田中範雄会長時のクラブ幹事をやりました。その前に2830地区のローターアクト委員長を3年間やりまし

た。その時にインドでポリオワクチン投与活動もやりました。インドに2009年から約2年に1回のペースで5回ほど行っている感じです。その中の2回は地区ロータリーアクト委員長時代でしたので、20代のロータリーアクトメンバーと一緒に連れていき、現地インドで様々な活動をしました。

2015年にクラブ幹事をやってから5年ほど役をやらずに静かな生活をしていましたが、1年前に小井田会長から来年の会長をよろしくお願いしますという話を受け、今に至っています。

会長方針ですが、本年度のR Iのテーマは「Imagine Rotary 想像」、今年度のR I会長は初めての女性です。今までずっと男性会長でしたが、初めての女性会長でカナダの方です。この会長の話を、今はyou tubeで方針の演説が流れているのを聞いて、感銘を受けたのは“想像”というのは未来を描くこと。

過去のことではない。過去をimagineする人はいない。改めて考えるとそうです。想像するときはあくまでも将来のことしか想像しなくて、過去のことは単純に思い出すだけの話です。改めて考えると、想像、イメージする、今後のことを考えることはこのご時世においてはすごく大事なことになるかなと思っています。

クラブの中で考えてみても佐々木泰宏年度の途中からコロナ禍が始まり、佐々木会長、道尻会長、小井田会長の各会長は本当はこういうことをやりたかったのだけれど、諸般の事情でなかなかできなかったという思いが結構あるかと思っています。わたしの年度でできることはやるということは常々考えていきたいと思っています。

例えば夜の例会、I DMあるいはロータリー奉仕デー、かるた大会、国内姉妹クラブの横手や能代R Cとの交流は、今年は無理かもしれませんが来春くらいには何とかやるのではというちょっとした希望は持っています。

少し力をいれなければと思っているのは

ロータリーアクトとインターアクトです。このご時世で近づくこともなかなか許されない中で、どうやって立て直していくのが今後の課題かと思っています。コロナ禍でなかなか2、3年前の生活は戻ってこないのでは思いながらも、ただ人との接触、コミュニケーションはこれからも重要視されることは間違いないと思っています。その辺をできることと、ちょっと難しいこと、あるいはイメージして工夫すればできるのではということはどうどんやっていきたいと考えています。

今年のクラブのテーマはimagineということばを少し参考にして、「ロータリーの力を信じよう」。この力を信じるということを今年度のテーマにさせていただきたいと思います。何をやるにしても形のないお互いの信頼関係であったり、そういった類のものを信じながら皆さん行動しているかと思っていますので、ロータリーの力というものを信じて、皆さんを信じて1年間過ごしていければと思っています。

信じた上で行動できることを皆さんで一生懸命行動していく。こういった1年にしていきたいと思っています。

これから各委員会がいろいろな活動計画を発表すると思いますが、今わたしの言ったロータリーの力を信じながら、できるところはやって、そして行動していくところをだんだんに形にできればと思っています。

委員会活動計画発表 I

クラブ奉仕委員会

道尻誠助委員長



小林会長が今年度のクラブテーマを「ロータリーの力を信じよう」とご説明いただきました。力強さを感じました。

クラブ奉仕委員会は小林会長からクラブの活動を円滑に進めるために所属する各委員会の連携を密にしてください、とのテーマをいただいています。このテーマをしっかりと心に叩き込み、クラブ活動の根幹である例会が楽しく、有意義となるよう各委員

の知恵を出し合い、試行錯誤を重ねていきたいと思っています。

コロナ禍での行動制限の続く中ではありま
すけれども現状を憂うことなく、委員の力を
結集し臨機応変に対応して参ります。「みん
なでやるべ」という機運を高めるには皆様
のご協力と熱いエネルギーが必要です。皆
さんでいくらお酒を飲んでも酔った素振
りを見せない燃える男 小林年度を全力で
支えていきましょう。

出席委員会

川村幸雄委員長

(村館珠樹副委員長代読)



当委員会は各委員会と連携
して例会への出席率を高める
と共に、会合や活動を通じて
会員同士の親睦を深め、クラ
ブの発展に努めることを基本

方針とします。まず出席が第一です。

1. 出席率は90%以上を目指す。
2. 例会欠席の場合は他クラブへの例会出席を勧める。
3. 地区大会、合同例会、IM等への出席も奨励する。
4. 出席予定について事前の報告、連絡を徹底する。

前年度もそうですが、食事の無駄等を省き
ながら、楽しくやっていきたいと思ひます。

親睦会場委員会

岡崎孝文委員長



今年度の親睦会場委員会の
活動計画は通常例会ならびに
特別例会は会員の皆さまが一
緒に新しい力を発揮できるよ
うに、楽しく親睦を図れるよ

うに企画運営に努めていきます。

1. 通常例会はコロナ感染対策を講じながら親睦を深める企画運営に努めます。
2. 通常例会でインパクトのあるランチメニューの選択に努めていきます。
3. 特別例会は実現可能なものから楽しい企画などに努めていきます。
4. オンライン出席のリモート運営について

はメンバーの体制強化に努めていきます。

5. 会員の皆さまのご協力によるニコニコボックスにつきましては、交流事業、ロータアクト、インターアクトの活動支援などに当てられるようにさらに推進していきます。

会報広報委員会

峯 正一委員長

(荒谷達也副委員長報告)

今年度活動計画は会報を毎週遅れないよう
に発行できるようにします。写真などに関し
ては従来通りの取り組みを継続します。

記録のためにも例会内容はできる限り詳
しく掲載するようにいたします。

広報に関してはいろいろな方法を検討して
活動内容の発信に努めていきます。

ロータリーの友委員会

深澤 隆委員長



今年度も毎月1回程度15～
30分程度のロータリーの友の
時間をいただいていますので、
その中でロータリーの友を紹介
しながら、国内外のロータ
リー活動への理解を深めることがこの委員
会の目標になっています。

具体的には会長から去年、広瀬知明委員長
に導入いただいたビブリオバトル形式をでき
る限り開催して欲しいとの希望がありました。
来月以降はビブリオバトル形式、参加型
のロータリーの友の会の例会を目指してい
きたいと思ひます。声をかけた皆さま、でき
れば多くの方にここで5分間のバトルに参加
していただいているいろいろご発表いただ
ければと考えています。

なるべく早くどなたにお願いするかなどを
ご案内したいと思ひます。来週もう少し
詳しく説明したいと思ひます。

昨年はなかなかできませんでしたが、読後
会なども開けるようになって開催するよう
に頑張っていきたいと思ひます。

ロータリー情報委員会

佐々木泰宏委員長

情報委員会の目的はロータリーのいろいろ



なことを皆さんにご紹介、伝えていくことです。

1. 国際ロータリーによる規約改正などがあればその内容を報告する。
2. ロータリー事務局に過去40年以上の資料が保存されていますので、その整理をしました。どんなものがあるのかを一覧を用意して皆さんにもいろいろ利用していただけるようにしたい。
3. 新会員、あるいは会員歴の浅い会員に対してロータリー用語集などを用意してIDMの場を通じてロータリーに対する知識と親しみを醸成したい、と考えています。

会員増強委員会

石橋信雄委員長



1. 八戸クラブの目標であります純増3人に向けて、会員全員で増強に対する機運を盛り上げていきたいと考えています。改めて入会候補者リストを整備して、情報を共有化して活動が単年度ではなく、継続できるようにしたいと考えています。

2. また法人会員の提案を含め、退会防止に向けて会員全体での共通認識を高めるよう、委員会として活動していきます。

プログラム委員会

広瀬知明委員長



会長から会員が興味を持つような外部卓話、新会員やベテラン会員を中心に3分間スピーチを実施してくださいとのご指示をいただいています。

小林年度の方針は会員の皆さんは豊かな見識を持ち合わせているので、新人・中堅・ベテランによる会員卓話を行うと共に、ホットな話題をテーマに最前線で活躍するゲストを招いた外部卓話を実施していきたいと考えて

います。

3分間スピーチも随時実施して、例会の活性化と会員同士の相互理解を図っていきたい。ビブリオバトルと被らないようにしたいと思っています。活発な例会にしたいと思っています。

職業奉仕委員会

妻神和憲委員長



職業奉仕はロータリーの看板、根幹であるといわれ、ロータリアンの生活の規範を成すものであるといわれています。職業奉仕ということば

が生まれた背景はまさにロータリクラブ発足の歴史を物語るものであり、そのことばに含まれた意味を理解することにより深くロータリーを知ることができると考えています。

四つのテストを掘り下げながら、またポール・ハリスやシェルドンなどの話を紹介しながら、会員の皆様が職業奉仕を理解できるように進めていきたいと思っています。

また今年度も例年同様、感染対策を進めながら職場訪問例会を企画する予定です。

社会奉仕委員会

地代所久恭委員長

(正部家光彦幹事代読)



冬の恒例の八戸市競技カルタ小中学校大会は新型コロナウイルスの関係で2年間中止となっています。まだ不透明感がありますが、今年は何と

しても開催に向けて取り組んで参りたいと思っています。

また今年度の新たな活動として、未来を担う八戸市の幼稚園児の年長組を対象に親子で農園に出かけて実際に土に触れて、果物や野菜を収穫し、それらを調理する体験を考えています